

環境調査結果のお知らせ

令和5年3月30日午後2時から浦ノ内湾の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は水温が15.9～19.0℃、塩分が27.1～33.8、溶存酸素量が5.3～12.9mg/L、透明度は2.1～3.0 mでした。

検鏡の結果、魚類に対して有害なヘテロシグマ・アカシオが最高で5,300cells/mL確認されました。また、中学校前と大鹿の2m層では、微細なゴミが多く確認されました。

ヘテロシグマ・アカシオは、環境条件によって急激に増殖することがあります。海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

水温と塩分(表1・2)

水温は15.9～19.0℃、塩分は27.1～33.8でした。漁場平均では、前回調査時(R5.3.16)と比較して、水温は表層から10m層で0.6～2.8℃上昇し、底層で0.1℃低下しました。塩分は全層で0.3～5.2低下しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量は5.3～12.9mg/Lでした。

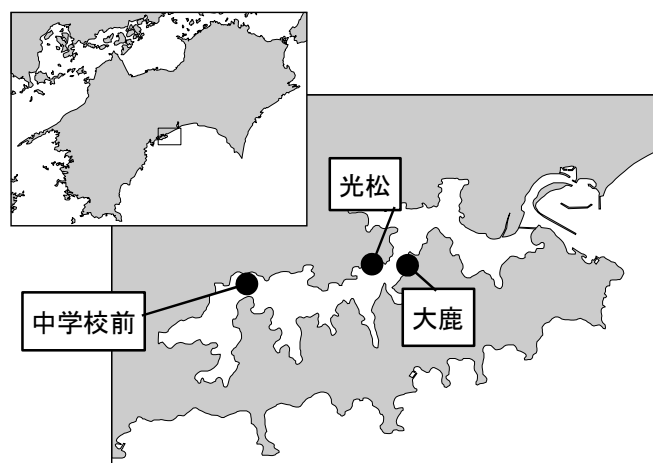
漁場平均では、前回調査時(R5.3.16)と比較して、表層では3.3mg/L上昇し、2m層～底層では0.6～2.9mg/L減少しました。

透明度・プランクトン(表4・5)

透明度は2.1～3.0 mでした。

検鏡の結果、魚類に対して有害なヘテロシグマ・アカシオが最高で5,300cells/mL確認されました。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。



環境調査結果表(水温・塩分・プランクトン等)

表1 水温(°C)

調査地点	中学校前		光松	大鹿	漁場平均 ※	前回調査(3/16)	
						漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	18.2		18.6	19.0	18.8	16.0	2.8
2m	19.0		18.6	18.6	18.6	16.0	2.6
5m	17.9		18.1	18.1	18.1	16.0	2.1
10m	16.7		16.5	16.6	16.6	16.0	0.6
B-1m	16.3		15.9	15.9	15.9	16.0	▲ 0.1

表2 塩分

調査地点	中学校前		光松	大鹿	漁場平均 ※	前回調査(3/16)	
						漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	27.1		28.5	29.3	28.9	34.1	▲ 5.2
2m	31.9		32.2	32.6	32.4	34.1	▲ 1.7
5m	32.9		33.0	33.1	33.0	34.1	▲ 1.1
10m	33.5		33.7	33.6	33.6	34.1	▲ 0.5
B-1m	33.7		33.8	33.8	33.8	34.1	▲ 0.3

表3 溶存酸素量(mg/L)

調査地点	中学校前		光松	大鹿	漁場平均 ※	前回調査(3/16)	
						漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	10.9		10.7	12.9	11.8	8.5	3.3
2m	11.3		6.6	5.9	6.3	7.0	▲ 0.7
5m	8.7		8.0	8.1	8.0	8.6	▲ 0.6
10m	6.5		7.7	7.6	7.7	8.6	▲ 0.9
B-1m	5.3		5.7	5.5	5.6	8.5	▲ 2.9

※ 光松・大鹿の平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	中学校前		光松	大鹿
水深	12.8		17.1	17.0
透明度	2.9		3.0	2.1
前回(3/16)	6.0		6.0	6.0

表5 プランクトン(cells/mL)

		ヘテロシグマ・アカシオ
中学校前	0m	18
	2m	215
	5m	300
光松	0m	90
	2m	380
	5m	95
大鹿	0m	5,300
	2m	1,320
	5m	140